

⑤4 北海道歯舞地区直轄漁港整備事業

受賞機関 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 根室港湾事務所

キーワード 人工地盤、水産物流通効率化、
高度衛生管理型市場、津波避難、海業

全建賞審査委員会の評価ポイント

直轄事業による屋根付き岸壁・人工地盤・アクセス道路の整備と漁協事業による高度衛生管理型市場の整備を一体的に進め、水産物の衛生管理向上・用地不足の解消、津波来襲時の一時避難機能及び海業振興を同時に実現するとともに、3DVRを活用した関係者間との合意形成を効果的に行った点が評価された。

1. はじめに

歯舞漁港は、北海道根室半島先端部に位置する第4種漁港であり、漁船の避難拠点であるとともに、タラ刺網、サケ定置網、貝殻島コンブ等の漁業の生産流通拠点として重要な役割を担っている。

水産物の衛生管理の向上、流通機能の効率化及び大規模地震・津波に対する防災機能の向上を図るため、歯舞漁業協同組合（以下「歯舞漁協」という。）が建設する高度衛生管理型市場（以下「市場施設」という。）と連携し、屋根付き岸壁、人工地盤及びアクセス道路を一体的に整備し、令和4年8月に暫定供用を開始し、令和6年3月に完成した。

2. 事業の概要

歯舞漁港では、利用する漁船や漁獲量が多く、漁業関係者の車両や水産物の出荷トラックで慢性的に混雑し、また、屋根付き岸壁が不足していたため、水産物の流通や衛生面において様々な課題が生じていた。さらに、根室沖で想定される大規模地震による津波に対する安全確保のほか、水産庁が推進する海業振興への対応も重要な課題であった。

このため本事業では、用地不足の解消、衛生管理対策の強化及び防災・減災対策を目的として、国の直轄による屋根付き岸壁、人工地盤及びアクセス道路の整備を行い、歯舞漁協による交流機能を備えた市場施設の整備を一体的に進めた。

また、整備に当たっては、関係者の理解促進を図るため、3DVRを活用して作業動線や施設配置を検討した。

3. 事業の成果

本事業により、水産物の陸揚げから出荷までの一連の作業において、降雨、鳥糞、直射日光といった外的要因の影響が抑えられ、衛生管理水準の更なる高度化が図られた。また、アクセス道路の整備により、盛漁期における車両動線が確保され、水産物輸送の円滑化・効率化が実現した。

加えて、大規模な津波が発生した際には、人工地盤2階からアクセス道路を通して、背後地の高台へ避難できるようになった。整備した市場施設には、非常用電源設備や防災時に一時待機できる部屋が備えられ、防災・減災対策が強化されている。

さらに、市場施設には一般の来訪者がセリ等の様子を見学できるスペースが確保されるとともに、直販所等も設けられ、地域水産物のPR活動の推進に寄与している。



歯舞漁港人工地盤関連施設の全景



屋根付き岸壁での陸揚げ状況

4. おわりに

本事業の実施により、歯舞漁港は北海道で初めて一般社団法人大日本水産会の定める「優良衛生品質管理市場・漁港」に認定された。また、市場施設においては、修学旅行生の受入れや地域住民を対象とした避難訓練に活用されるなど、都市と漁村の交流拠点や防災拠点として機能している。今後も、都市と漁村の交流を通じた地域活性化への貢献が期待される。

賛助会員 三井住友建設(株)、勇建設(株)、堀松建設工業(株)、
(株)クマシロシステム設計、萩原建設工業(株)、白崎建設(株)、
渡辺建設工業(株)